

■ ノイズ除去トランスのアースについて その1

グラウンド間で電位の異なる所や、グラウンドが接地できない所でもノイズを防止できますが、次の2点が大切です。ノイズカットトランスを設置しても良い効果の得られない場合、この2点を見直すことでほとんど解決いたします。

1. ノイズカットトランスの設置場所をグラウンドとの関連より決定し、グラウンドとできるだけ広い面積で接触良く取付けること。
2. 入力側ケーブル及び出力側ケーブルをシールド線とし、このシールドとノイズカットトランスのケースを広い面積で取付けること。

基本的な使用法は図1の接続となりますが、グラウンドの状況により図2、図3、図4の使用法があります。

* グラウンドについて

基準電位（ゼロ）を保つ導体と呼びますが、大地に接続されているとは限らず、同一システム、あるいは同一グループ内で同電位とみなせる良導体のことです。

■ ノイズ除去トランスのアースについて その2

図1. 基本的接続

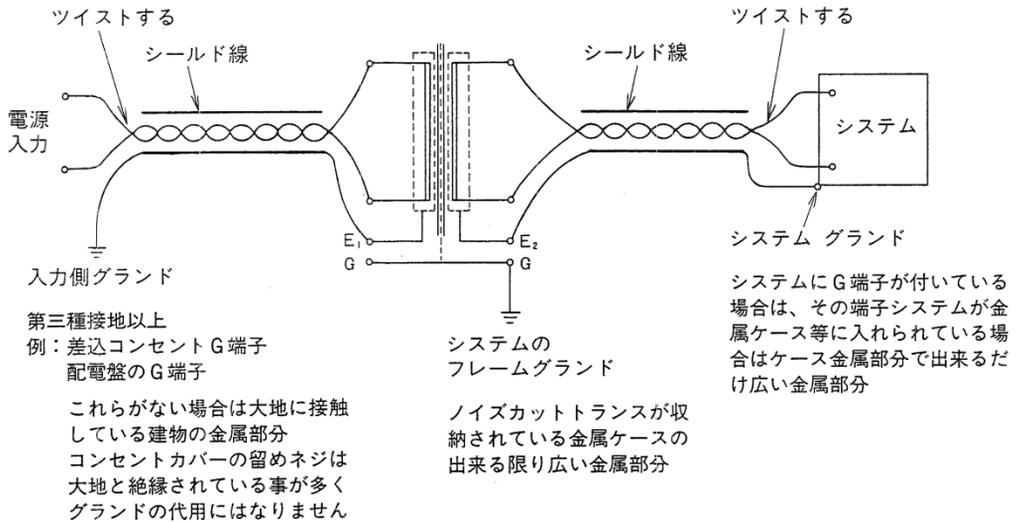


図2. 共通グランドがある場合

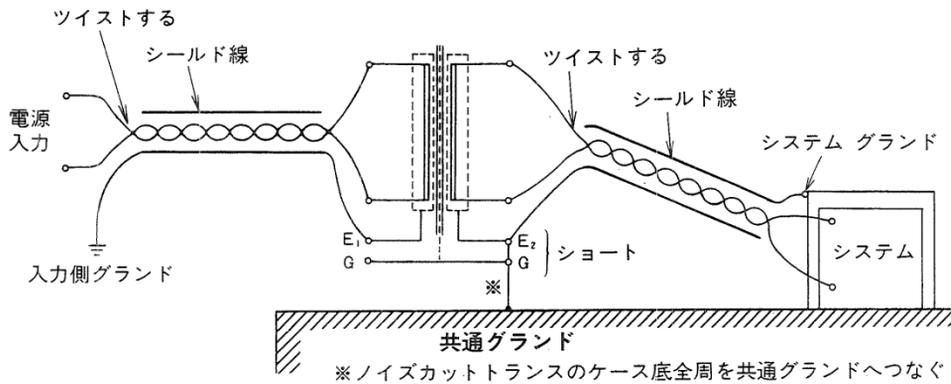
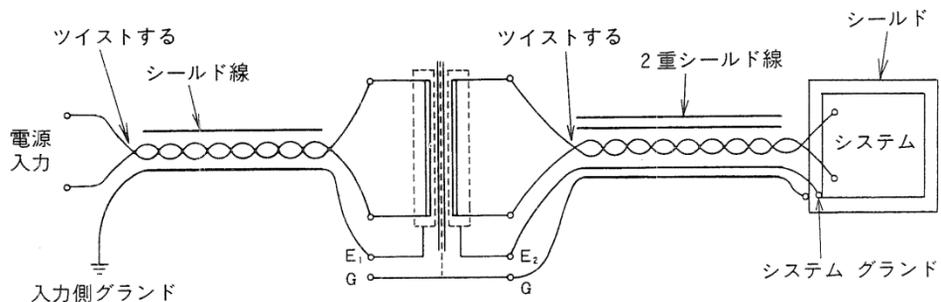


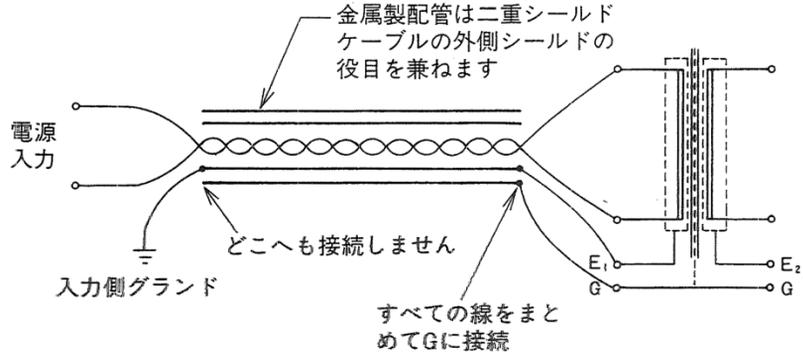
図3. フレームグランドや大地アースのない場合



■ ノイズ除去トランスのアースについて その3

図4. ノイズカットトランスに接続するケーブルが長い場合は2重シールドケーブルを使用し、以下の様に接続します。

● 電源側



● 出力側 (システム側)

